

平成27年度（平成26年度対象）

# 亀岡市教育委員会 点検・評価報告書

平成27年9月

亀岡市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成26年度事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行いました。

御一読いただき、亀岡市教育委員会の取組について、御意見等をお寄せください。

亀岡市教育委員会では、将来を展望し、中長期的な視点に立って地域の実情に合った教育活動をより効果的に実施していくため、目指すべき教育の基本的な方向性や重点施策を明らかにした「亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～」を策定しています。毎年度、各施策の進捗状況を把握するとともに、施策による成果や課題などを検証し、その結果を施策の展開に反映させながら継続的な推進を図ります。

「ともに学び ともに育ち ともに生きる かめおか教育の創造」を基本理念とし、めざす子ども像を「ほっかほか心 ふるさと大好き かめおかっ子」とし、子どもたちが、学校・地域・家庭のあたたかな見守りの中で包み込まれるという感覚を実感し、ふるさとを愛し、人を思いやる心を育む教育を推進してまいります。

平成27年9月

亀岡市教育委員会

教育委員会委員名簿

職名	氏名
委員長	栗山 正則
委員長職務代理者	吉岡 眞知子
委員	江口 昌道
委員	関 吉廣
教育長	竹岡 敏

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 頁
2	会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 頁
3	平成26年度教育委員会活動の概要・・・・・・・・	7 頁
4	その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・	11 頁
5	亀岡市教育振興基本計画平成26年度推進施策・・・・・・・・	12 頁
6	推進施策に係る取組状況評価	
	(1) 点検・評価の方法・・・・・・・・	16 頁
	(2) 点検・評価結果の構成・・・・・・・・	16 頁
	(3) 総合評価の状況・・・・・・・・	17 頁
7	数値目標事業の進捗状況・・・・・・・・	18 頁
8	施策別評価	
	1 「生きる力」の育成・・・・・・・・	19 頁
	2 ふるさとを愛する心の育成・・・・・・・・	25 頁
	3 学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進・・・・・・・・	27 頁
	4 安全・安心で充実した教育環境の整備・・・・・・・・	28 頁
	5 生涯学習活動の推進・・・・・・・・	31 頁
	6 歴史・文化・自然の保存継承と発信・・・・・・・・	34 頁
	資 料・・・・・・・・	36 頁

## 1 はじめに

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成26年度の教育委員会活動を振り返るとともに、本市教育委員会が毎年度示す「亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～平成26年度推進施策」を基に、具体的な推進施策について教育委員会が事務の進捗状況について点検・評価を行いました。

## 2 会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を、また、必要に応じて臨時会を開催したほか、事前協議等のため教育委員協議会を次のとおり開催しました。

会議名	日時	付議案件等
教育委員会 (臨時)	H26. 4. 1(火) 13:30～14:30	(第1号議案) 亀岡市教育委員会委員長の選任について (第2号議案) 亀岡市教育委員会委員長職務代理者の選任について
教育委員会 (定例)	H26. 4. 23(水) 13:30～16:15	(協議事項) 平成26年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について (報告事項) 生徒指導上の問題事象について 平成26年度国・府等の研究等指定(委託)事業について ヒロシマに学ぶ親子平和の旅について いじめ防止基本方針に係るパブリックコメントの状況について 放課後児童会学年初めにおける受入状況について 「第14回成人式大賞」貢献賞受賞について 亀岡市人権啓発推進協議会人権教育指導員の委嘱について 平成26年度こども読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)の文部科学大臣表彰の受賞について 教育研究所教育講演会(5月講座)について (その他) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案について 京都市市町村教育委員会連合会定期総会・委員研修会について 南丹教育委員会連絡協議会総会・研修会について 平成26年度小・中学校長会等の役員について 今年度の学校訪問計画について クリーンかめおか推進会議委員の選出について 亀岡市教育振興計画～かめおか教育プラン～平成26年度推進施策チラシの作成について
教育委員会 (定例)	H26. 5. 20(火) 15:00～17:40	(第3号議案) 亀岡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の原案決定について (第4号議案) 亀岡市学校規模適正化検討会議規則の制定について (第5号議案) 亀岡市いじめ防止基本方針について (第6号議案) 亀岡市いじめ防止対策推進委員会条例の原案決定について (第7号議案) 亀岡市社会教育委員の委嘱について

<p>教育委員会 (定例)</p>	<p>H26. 5. 20(火) 15:00～17:40</p>	<p>(報告事項) 平成26年度一般会計6月補正予算案について 平成25年度公立中学校卒業生徒の進路状況について 東別院小学校スクールバスの接触事故に係る報告について 平成26年度「高齢者さわやか教室」講座年間予定について 平成26年度「人権教育講座」「人権教育指導者研修会」の年間予定について 文化資料館平成26年度事業計画等について 教育研究所6月教職員研修講座について 教育研究所サイエンスフレンズ学習クラブについて (その他) 教育委員学校訪問計画について 「かめおかつこ夢・未来読書プラン」推進会議委員の選出について</p>
<p>教育委員会 (定例)</p>	<p>H26. 6. 24(火) 10:00～12:00</p>	<p>(第8号議案) 亀岡市図書館協議会委員の委嘱について (第9号議案) 亀岡市新資料館構想策定委員会設置要綱の制定について (報告事項) 亀岡市議会6月定例会一般質問・答弁要旨について 「亀岡市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程」の一部改正について 「亀岡市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の安全衛生管理規程」の制定について 平成26年度京都府学力診断テストについて 平成26年度家庭教育支援事業の実施について 平成25年度子ども「心の教育」実践事例集について 教育研究所サイエンスボランティアについて 教育研究所7、8月教職員研修講座について 教育研究所夏季教育セミナーについて (その他) 教育委員による学校訪問計画について 亀岡市議会9月定例会の日程について 平成26年度地域こん談会の日程について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の成立について</p>
<p>教育委員 協議会</p>	<p>H26. 7. 9(水) 11:15～12:15 13:15～16:30</p>	<p>(協議事項) 教育委員会施策の点検・評価(案)について</p>
<p>教育委員 協議会</p>	<p>H26. 7. 18(金) 9:00～10:40</p>	<p>(協議事項) 教育委員会施策の点検・評価(案)について</p>
<p>教育委員会 (定例)</p>	<p>H26. 7. 31(木) 13:30～15:00</p>	<p>(報告事項) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について 子ども・子育て新制度に係る状況報告について 亀岡教職員組合2014年度統一要求書について 平成26年度運動会・体育祭の日程及び出席について 亀岡市放課後児童会健全育成事業の今後の方針について 教育研究所主催サイエンスフェスタの開催について (その他) 平成26年度市町村教育委員会研究協議会の開催について 亀岡市都市計画審議会委員の推薦について</p>

教育委員 協議会	H26.7.31(木) 15:10~16:15	(協議事項) 教育委員会施策の点検・評価(案)について
教育委員会 点検・評価 会議	H26.8.8(金) 13:30~15:30	(会議) 平成26年度(平成25年度対象)亀岡市教育委員会点検・評価 報告書(案)について 外部有識者による意見・助言について
教育委員会 (定例)	H26.8.29(金) 9:30~12:10	(第10号議案) 平成27年度使用小学校教科用図書の採択について (第11号議案) 平成27年度使用中学校教科用図書の採択について (第12号議案) 亀岡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の経過措置の期間を 定める規則の制定について (第13号議案) 亀岡市教育委員会点検・評価報告書の策定について (報告事項) 平成26年度一般会計9月補正予算案について 市長・小中学校長・幼稚園長とのこん談について 食物アレルギー対応の手引きについて 生徒指導上の問題事象(1学期のまとめ)について いじめ調査(1回目)の結果について 平成26年度全国学力・学習状況調査結果について 運動会・体育祭について 亀岡市放課後児童健全育成事業に係る条例(案)の議会上程日程 の変更について 亀岡市新資料館構想策定委員会委員の決定について 「いかだに乗ってみよう!」イベント等について 教育研究所9月教職員研修講座について (その他) 平成26年度市町村教育委員研究協議会(第2ブロック)の参加 について 亀岡市民生委員推せん会委員の選任について 第2回学校訪問について
教育委員会 (定例)	H26.9.25(木) 10:00~11:20	(報告事項) 亀岡市教育委員会点検・評価報告書の公表について 亀岡市議会9月定例会一般質問・答弁要旨について 第1回亀岡市立学校教職員安全衛生委員会の開催結果について 亀岡市小学校児童陸上運動交歓記録会について 口丹波中学校駅伝競走大会兼京都府予選について 亀岡市研究発表会について 亀岡市放課後児童健全育成事業に関する条例制定及び条例改正 概要(案)に対するパブリックコメントの実施について 第32回女性集会の開催について 第1回亀岡市新資料館構想策定委員会開催報告について 「いかだに乗ってみよう!」開催報告について 教育研究所10月教職員研修講座について 地域ふれあいサイエンスフェスタ2014について (その他) 平成26年度市町村教育委員研究協議会(第2ブロック)への参加 について 平成26年度京都市市町村教育委員会連合会委員研修会及び近 畿市町村教育委員研修大会への参加について 平成26年度南丹教育委員会連絡協議会研修の実施について

教育委員会 (臨時)	H26. 9. 25(木) 11:30～11:45	(第14号議案) 亀岡市教育委員会委員の辞職の同意について
教育委員会 (定例)	H26. 10. 30(木) 10:00～11:45	(報告事項) 平成27年度亀岡市当初予算編成方針について 第2回亀岡市学校規模適正化検討会議の開催結果について インターナショナル・セーフスクール認証にかかる事前審査の実施について 口丹波中学校駅伝競走大会の結果について 亀岡市小学生駅伝(持久走)大会の開催について 南丹地区小学生駅伝競走大会「京都丹波キッズふれあい駅伝」の開催について 平成26年度全国学力・学習状況調査における亀岡市の小中学校の分析結果について 亀岡市放課後児童健全育成事業に関する条例制定骨子及び条例改正概要(案)に対するパブリックコメントの状況について 第2回「かめおかつこ 夢・未来 読書フェスティバル」の開催について 教育研究所11月教職員研修講座について (その他) 亀岡市都市計画審議会委員の選任について 第2回教育委員学校訪問について 亀岡市議会12月定例会の日程について 平成26年度南丹教育委員会連絡協議会視察研修会について
教育委員 協議会	H26. 11. 13(木) 16:30～17:30	(協議事項) 亀岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(案)について 亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例(案)について
教育委員会 (定例)	H26. 11. 25(火) 10:00～12:05	(第15号議案) 亀岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の原案決定について (第16号議案) 亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の原案決定について (第17号議案) 亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について (報告事項) 平成27年度教職員人事異動方針について 平成26年度一般会計12月補正予算案について 学校規模適正化に係る「子どもたちのより良い教育環境について考えるアンケート」調査の実施について インターナショナル・セーフスクール認証にかかる事前審査の結果について 「土曜日を活用した教育」のアンケートの実施について 京都府中学校駅伝競走大会の結果について 亀岡市小学生駅伝(持久走)大会の結果について 亀岡市成人式の日程確認について 教育研究所12月教職員研修講座について (その他) 教育委員研修会の実施について(学校給食センター視察)

<p>教育委員会 (定例)</p>	<p>H26. 12. 19(金) 13:30～15:10</p>	<p>(報告事項)          亀岡市議会 1 2 月定例会一般質問・答弁要旨について          第 2 回亀岡市立学校教職員安全衛生委員会の開催結果について          京都丹波キッズふれあい駅伝の結果について          平成 2 6 年度京都府中学校学力診断テスト結果について          「第 1 回亀岡市いじめ防止対策推進委員会」の開催結果について          第 3 2 回亀岡市女性集会の開催結果について          第 3 0 回文化資料館特別展について          教育研究所 1 月教職員研修講座について</p>
<p>教育委員 協議会</p>	<p>H26. 12. 19(金) 15:20～16:30</p>	<p>(協議事項)          教育委員会制度改革に伴う例規改正 (案) について          幼稚園事務に係る市長部局への移管 (案) について          幼稚園保育料の改定 (案) について</p>
<p>教育委員会 (定例)</p>	<p>H27. 1. 23(金) 13:30～15:40</p>	<p>(第 1 8 号議案)          「亀岡市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱」の制定について          (協議事項)          亀岡市教育振興基本計画平成 2 7 年度推進施策について          (報告事項)          亀岡市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に          関する規程の改正について          教職員の勤務時間などに関する申し入れについて          「土曜日を活用した教育」に係るアンケート集計結果について          生徒指導上の問題事象 (2 学期のまとめ) について          フォーラムの開催について          教育研究所 2 月教職員研修講座について          (その他)          中学校給食の先進地視察について          亀岡市議会 3 月定例会の日程について</p>
<p>教育委員会 (定例)</p>	<p>H27. 2. 18(水) 14:30～17:00</p>	<p>(第 1 9 号議案)          亀岡市教育委員会委員定数条例を廃止する条例の原案決定につ          いて          (第 2 0 号議案)          亀岡市教育委員会基本規則等の一部を改正する規則の制定につ          いて          (第 2 1 号議案)          亀岡市立小学校設置条例及び亀岡市立中学校設置条例の一部を          改正する条例の原案決定について          (第 2 2 号議案)          亀岡市立小学校及び中学校における休業期間の変更について          (第 2 3 号議案)          亀岡市教育委員会事務の点検・評価の実施に関する要綱の一部を          改正する告示について          (第 2 4 号議案)          児童生徒の入学すべき学区を指定する規則の一部を改正する          規則の制定について          (第 2 5 号議案)          亀岡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の原案決定について          (第 2 6 号議案)          亀岡市立幼稚園における預かり保育の実施に関する規則の制定          について          (報告事項)          平成 2 7 年度教育委員会所管当初予算案の概要について          平成 2 6 年度一般会計 3 月補正予算案について          学校規模適正化検討会議第 3 回会議の結果概要について</p>

		<p>いじめ調査結果について 「学校給食異物混入時対応マニュアル」&lt;学校において異物混入等を発見した時の対応&gt;の策定について 文化資料館ロビー展「虹の美術館」等について (その他) 平成26年度卒業式・平成27年度入学式の日程等について 南丹教育委員会連絡協議会総会の日程調整について</p>
教育委員会 (臨時)	H27.2.24(火) 16:00~16:50	<p>(第27号議案) 亀岡市立小・中学校校長の人事異動について (第28号議案) 亀岡市立小・中学校副校長の人事異動について (第29号議案) 亀岡市立小・中学校教頭の人事異動について</p>
教育委員会 (臨時)	H27.3.25(水) 10:30~10:50	<p>(第30号議案) 亀岡市教育委員会事務局・教育機関の管理職人事について</p>
教育委員 協議会	H27.3.25(水) 10:50~12:00	<p>(協議事項) 亀岡市教育振興基本計画平成27年度推進施策(案)について 平成27年度準教科書使用承認について</p>
教育委員会 (定例)	H27.3.26(木) 9:30~11:10	<p>(第31号議案) 亀岡市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則の制定について (第32号議案) 亀岡市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の制定について (第33号議案) 亀岡市教育振興基本計画平成27年度推進施策について (第34号議案) 平成27年度準教科書使用承認について (報告事項) 亀岡市教育委員会教育長職務代理者の権限に属する規程の制定について 小学校及び中学校の校長に対する事務委任規程の一部改正について 平成27年度教育委員会事務局職員の人事異動について 平成27年度亀岡市立学校教職員の人事異動について 亀岡市議会3月定例会一般質問・答弁要旨について 南丹地区教科用図書採択協議会規約の改正について 「いじめ問題対策連絡協議会」開催報告について 文化的景観保護推進事業普及啓発冊子の発行について 平成27年度「社会教育を推進するために」の送付について 高齢者さわやか教室実施報告について 成人式大賞について 亀岡市新資料館構想策定委員会開催報告について</p>

○会議開催回数

教育委員会(定例)	12回
教育委員会(臨時)	4回
教育委員協議会	6回
教育委員会点検・評価会議	1回
計	23回

### 3 平成26年度教育委員会活動の概要

#### (1) 学校訪問 (第1回)

実施日時 平成26年7月9日(水)  
参加者 教育委員会委員6名、事務局4名  
訪問先 安詳小学校  
日 程

訪問先・時間	内 容
安詳小学校 AM7:45～ AM10:50	・登校状況確認 ・職員朝礼 ・学校経営方針、教育課程、重点課題について 学校長と懇談 ・授業参観

#### (2) 学校訪問 (第2回)

実施日時 平成26年11月13日(木)  
参加者 教育委員会委員5名、事務局4名  
訪問先 亀岡市立幼稚園・東輝中学校  
日 程

訪問先・時間	内 容
亀岡市立幼稚園 AM9:10～AM10:50	・登校指導 ・幼稚園経営方針等について園長と懇談 ・授業参観
東輝中学校 AM11:45～PM3:50	・授業参観 ・学校経営方針等について学校長と懇談 ・PTA役員との懇談

#### (3) 管内視察研修

実施日時 平成26年12月3日(水)  
参加者 教育委員会委員5名、事務局3名  
訪問先 亀岡市立学校給食センター  
内 容  
・給食センター概要説明  
・学校給食調理作業、配送作業見学  
・給食試食

#### (4) 管外視察研修

実施日時 平成27年2月4日(水)  
参加者 教育委員会委員5名、事務局4名  
訪問先 京田辺市立大住中学校  
内 容  
・中学校給食の実施内容や導入に関わっての課題等について  
担当者との懇談、給食試食

(5) 中学校PTAとの懇談会

学校名	懇談日時	出席者	懇談内容
東輝 中学校	H26.11.13(木) 14:50~15:40	東輝中学校PTA役員 学校長、教頭 教育委員会委員 教育委員会事務局職員	・PTA活動方針、事業 活動等について ・地域との連携について ・中学校給食について

(6) 小学校長との懇談会

実施日 平成26年9月4日(木)  
出席者 市内小学校長18名、教育委員会委員5名、事務局  
懇談事項  
・図書館教育の取組について  
・特別支援教育の取組について  
・生徒指導の取組について

(7) 中学校長との懇談会

実施日 平成26年9月5日(金)  
出席者 市内中学校長8名、教育委員会委員5名、事務局  
懇談事項  
・進路指導・学力向上について  
・生徒指導について  
・学校予算と施設について  
・文化・スポーツについて

(8) 市長との教育懇談会

実施日 平成26年9月4日(木)  
出席者 亀岡市長、教育委員会委員5名、事務局  
懇談事項  
・教育委員会制度の改正について  
・学校規模適正化について  
・空調設備の整備について  
・学力向上について

(9) 各種研修会等

① 南丹教育委員会連絡協議会研修会

実施日 平成26年5月14日(水)  
場 所 京都医療科学大学 会議室  
出席者 教育委員会委員5名  
研修内容  
(講演) 演題 「正しい放射能の理解について～原子力防災を考える」  
講師 京都医療科学大学 教授 大野 和子 氏

②南丹教育委員会連絡協議会視察研修会

実施日 平成26年11月12日(水)  
場 所 城陽市立寺田小学校、世界遺産(世界文化遺産)仁和寺  
出席者 教育委員会委員5名、事務局1名  
研修内容 小中連携をととした外国語活動の先進校及び文化財修理現場の視察研修

③京都市町村教育委員会連合会委員研修会(春)

実施日 平成26年5月19日(月)  
場 所 京都府総合教育センター  
出席者 教育委員会委員5名  
内 容  
(講演) 演題 「国の教育改革の動向について」  
講師 京都府教育庁 教育次長 橋本 幸三 氏

④京都市町村教育委員会連合会委員研修会(秋)

実施日 平成26年10月20日(月)  
場 所 京都テルサ  
出席者 教育委員会委員5名  
内 容  
(講演) 演題 「教育委員会制度について」  
講師 京都府教育庁 管理部長 小橋 秀生 氏

⑤近畿市町村教育委員研修大会

実施日 平成26年10月20日(月)  
場 所 京都テルサ  
出席者 教育委員会委員5名、事務局1名  
内 容 (講演) 演題 教育委員会制度改革について  
講師 文部科学省初等中等教育局 初等中等教育企画課  
企画官 堀野 晶三 氏

⑥市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)

実施日 平成26年10月14日(火)・15日(水)  
場 所 大分県別府市 別府国際コンベンションセンター  
出席者 教育委員会委員5名、事務局1名  
内 容  
(行政説明) 「初等中等教育をめぐる最近の動向について」  
「教育委員会制度改革について」

文部科学省初等中等教育局企画官 堀野 晶三氏

(講演) 演題 「学校教育を通じたグローバル人材の育成について」  
講師 筑波大学教授・学長特別補佐 徳永 保氏

(パネルディスカッション)

テーマ：「グローバル人材の育成について」

(事例発表・研究協議)

第1分科会 「グローバル人材の育成について」

第2分科会 「土曜日の活用など学校・家庭・地域が連携した子供の育成について」

第3分科会 「全国学力・学習状況調査結果の活用について」

#### 4 その他の活動

月	各種行事・大会等	
	亀岡市関係	国・府関係（場所）
4月	年度当初校園長会議 幼稚園入園式、小・中学校入学式	府立高等学校入学式（亀岡高校、 南丹高校、農芸高校）
5月		南丹教育委員会連絡協議会総会 （南丹市） 京都府市町村教育委員会連合会 定期総会（京都市）
6月	市議会6月定例会（本会議、一般質問）	
7月	平和祭市民スポーツ大会総合開会式 社会を明るくする運動市民中央集会	
8月	平和祈念式典	
9月	市議会9月定例会（本会議、一般質問） 幼稚園・小学校運動会、中学校体育祭 亀岡市戦没者追悼式 石田梅岩墓前祭 亀岡市立幼稚園竣工式典	
10月	小学校運動会 地域ふれあいサイエンスフェスタ	市町村教育委員会研究協議会 （第2ブロック）（大分県別府市） 京都府市町村教育委員会連合会 委員研修会（秋） 近畿市町村教育委員研修大会
11月	亀岡市自治振興式典 かめおかつこ 夢・未来 読書フェスティ バル 亀岡市インターナショナル・セーフ スクール認証事前審査	
12月	市議会12月定例会（本会議、一般質問）	
1月	新春年賀交歓会 亀岡市成人式	
2月	亀岡市スポーツ賞表彰式	
3月	市議会3月定例会（本会議、一般質問） 幼稚園修了式、小・中学校修了式 小・中学校卒業証書授与式 幼稚園卒園証書授与式	府立高等学校卒業式（亀岡高校、 南丹高校、農芸高校）

## 5 亀岡市教育振興基本計画平成26年度推進施策

### 1 「生きる力」の育成

#### (1) 確かな学力、学ぶ意欲の向上

- ①生きる力を育む開かれた魅力ある学校・園づくりの推進
- ②独自作成の問題集(かめもん)等の効果的な活用と基礎学力充実事業の充実
- ③土曜日を活用した教育活動実践研究事業の推進
- ④小学校外国語活動の推進
- ⑤小学校専科(音楽・図工)指導の推進
- ⑥キャリア教育の具体化等、進路指導に関わる取組の充実
- ⑦教育に関する研究活動の推進

#### (2) 就学前教育の推進

- ①公立保育所幼稚園研究協議会活動の充実と私立幼稚園、小学校との連携の推進
- ②特別な支援が必要な園児に対する適切な指導体制の確立と教育相談の充実
- ③幼児教育総合センター機能の検討・推進

#### (3) 健康教育・安全教育の充実

- ①計画的な保健指導と安全指導の実施と充実
- ②食に関する指導の充実
- ③豊かな心・人間関係を培う望ましい生活習慣の育成
- ④フッ化物洗口によるむし歯予防事業(幼稚園・小学校)の推進
- ⑤喫煙・薬物乱用防止教育及び性教育の推進
- ⑥児童生徒の健康診断等の実施

#### (4) 体力・競技力の向上

- ①幼児・児童生徒の体力・運動能力向上の取組推進
- ②小学校陸上運動交歓記録会・小学生駅伝(持久走)大会の充実
- ③南丹地区小学校駅伝競走大会「京都丹波キッズふれあい駅伝」への取組充実
- ④中学校各種競技大会の推進
- ⑤小・中学校体育連盟活動の推進
- ⑥幼稚園、小学校、中学校、高等学校の校種間連携の充実

#### (5) 特別支援教育の充実

- ①校内体制の充実及び児童生徒の実態把握の充実
- ②関係諸機関、校種間連携による指導・支援の充実
- ③交流及び共同学習の推進(特別支援学校・特別支援学級等)
- ④就学相談と進路指導の充実
- ⑤特別支援教育支援員の増員による支援体制の充実
- ⑥教育相談における判定機器等の充実
- ⑦保護者及び地域社会への啓発の充実

#### (6) 人権教育の推進

- ①児童生徒の基礎学力充実と進路保障及び主体的に進路選択できる力の育成
- ②教育活動全体を通じた計画的な人権教育の推進
- ③人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の充実
- ④日常的・継続的な家庭・地域社会、関係機関及び校種間の連携

#### (7) 生徒指導、教育相談の充実

- ①ネットいじめ等の諸問題に対し、亀岡市いじめ防止基本方針に基づく児童生徒・保護者への指導・啓発の推進
- ②いじめを許さない学校、学級づくりの推進
- ③教育相談事業の充実

- ④適応指導教室の充実及び不登校に係る民間施設や専門機関との連携
- ⑤スクールカウンセラー活用事業の推進
- ⑥生徒指導上の問題行動に対する指導体制の充実とスクールサポーターの積極的活用
- ⑦不登校対策支援員の増員による支援体制の充実
- ⑧児童虐待の早期発見及び関係機関と連携した早期対応

(8) 今日の課題に応える教育の充実

- ①国際理解教育の充実
- ②教育用コンピュータ、電子黒板等情報通信機器の有効な活用の推進
- ③情報活用能力に関する指導の充実
- ④実践的な環境教育の推進
- ⑤体験活動を重視した小・中学生の道德教育の充実

## 2 ふるさとを愛する心の育成

(1) 体験的活動の推進

- ①KYO発見 仕事文化体験活動推進事業などによる学習活動の充実
- ②地球環境子ども村、NPO等と連携した環境学習・体験学習の推進
- ③児童生徒によるボランティア活動の推進
- ④亀岡の歴史、文化、自然、水、くらしを通じた地域理解を深める「かめおか学」の推進
- ⑤地域ふれあいサイエンスフェスタの充実

(2) 豊かな感性を育む教育の推進

- ①亀岡市学校美術展覧会の開催
- ②市立幼稚園子ども展の開催
- ③「本物の舞台芸術体験事業」などによる演劇やミュージカル等の鑑賞機会の提供
- ④児童生徒の読書習慣や読書意欲の向上

(3) 地域の教育機能の活用

- ①学校評価等を活用した開かれた学校づくりの推進
- ②自然や歴史、伝統文化などの地域学習やクラブ活動における地域人材の活用
- ③学校支援地域本部事業の推進

## 3 学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進

(1) 小中一貫教育の推進

- ①施設一体型小中一貫校（川東小・高田中）の平成27年度開校に向けた取組の推進
- ②9年間を見通した系統的・継続的な年間学習指導計画の作成
- ③小中学校教員による小学校専科授業・TT授業の実施
- ④小中学校の教職員研修や学校行事交流の実施

(2) 学校規模適正化の検討

- ①適正な学校規模の調査・研究

(3) 教員の資質・能力の向上

- ①各種研修会の充実と校内研究、研修による指導方法の工夫・改善への支援
- ②研究指定事業を活用した学校力の向上、教員の資質能力の向上

(4) 教育研究所事業の充実

- ①学力向上に向けての具体的な方途の開発・発信
- ②教職員の指導力向上に必要な教職員研修講座の充実
- ③特別支援教育・教育相談など学校現場のニーズに対応する研修の充実
- ④幼児・児童生徒の学習活動支援及び保幼小中連携の推進
- ⑤亀岡市の今日の教育課題に応じる調査研究活動の推進

- ⑥子ども等の自立支援事業活用による児童生徒の学校不適応状況改善に向けた調査研究活動の推進

#### 4 安全・安心で充実した教育環境の整備

- (1) 安全・安心で快適な教育環境の整備
  - ①学校施設耐震化の計画的推進
  - ②学校・園施設の老朽箇所等の計画的整備
  - ③学校施設・設備の日常的な点検活動
  - ④快適な教育環境の整備
- (2) 安全指導、安全管理の充実
  - ①学校安全対策委員会を中心に自治会・PTA等と連携した学校安全体制の充実
  - ②学校安全対策協力員の配置と地域の見守り隊等の協力による安全対策の推進
  - ③通学安全対策の充実及び学校安全マップの定期的な見直しと活用
  - ④「地域子ども出迎えデー」の推進と学校安全メールシステムの活用促進
  - ⑤セーフスクールの推進
  - ⑥危機管理マニュアルに基づく安全体制の確立と研修・訓練の計画的な実施
- (3) 学校図書、学習教材・資機材の充実
  - ①学校図書館図書蔵書数の標準冊数達成に向けた蔵書数の充実
  - ②理科・数学の学習教材・資機材の充実
  - ③教育の情報化に向けた学習資機材の整備
- (4) 学校給食の充実
  - ①地元産食材の利用推進と、安全・安心で、栄養バランスに配慮した給食の提供
  - ②給食と各家庭に配布している「きゅうしょくだより」での広報を通じた食育の推進
  - ③食物アレルギーを有する児童への給食の取組と適切な対応のための学校給食センター・学校・保護者との連携の強化
  - ④小中学校の給食のあり方についての調査・研究
  - ⑤食物アレルギー対応に関する研修の推進
- (5) 就学・修学への支援
  - ①経済的に就学困難な小・中学生への援助費の支給
  - ②高校生・大学生を対象とした奨学金の支給
  - ③就園奨励費補助金の支給

#### 5 生涯学習活動の推進

- (1) 人権教育・人権学習の推進
  - ①人権教育講座の充実と多様な学習内容・機会の提供
  - ②人権教育活動に係る指導者の育成
  - ③自主的な人権学習活動への支援
- (2) 家庭教育への支援
  - ①社会教育関係団体との連携による家庭教育の推進
- (3) 子どもの健全育成の推進
  - ①青少年育成団体との連携による子どもの健全育成の推進
  - ②子ども「心の教育」推進事業の充実
  - ③成人式開催による青少年健全育成の推進
  - ④放課後児童健全育成事業の整備・充実

(4) 市民の学習活動の推進

- ①高齢者さわやか教室の充実
- ②生涯学習関係機関・団体との連携による学習機会・情報の提供
- ③中央公民館活動の充実

(5) 読書活動の充実

- ①図書館施設、読書環境の充実
- ②図書館蔵書の充実による市民読書の推進
- ③「かめおかつこ夢・未来読書プラン」に基づく子ども読書活動の推進
- ④読書ボランティアの養成と支援

(6) 生涯スポーツの推進

- ①体育協会や関係機関と連携した生涯スポーツ推進の支援

## 6 歴史・文化・自然の保存継承と発信

(1) 文化財の保存と活用

- ①史跡丹波国分寺跡公有化及び整備の推進
- ②世代間交流の積極的な展開と後継者の育成支援
- ③歴史的・文化的景観の保存と活用

(2) 歴史・文化・自然を学ぶ拠点の整備

- ①新資料館構想策定
- ②文化資料館での特別展・企画展・ロビー展の開催
- ③子ども歴史教室の充実
- ④文化資料館友の会の連携事業の充実
- ⑤出前講座・授業による学習活動への支援

## 6 推進施策に係る取組状況評価

### (1) 点検・評価の方法

亀岡市教育委員会事務の点検・評価の実施に関する要綱（平成21年亀岡市教育委員会告示第2号）に基づき、点検・評価を行いました。

点検・評価は、対象施策・事業の内容と成果を明らかにするとともに、課題と改善策、今後の方向性等を示しています。また、教育に関し学識経験を有する方の協力を得て、8月6日（木）に点検・評価会議を開催しました。意見等をいただいた学識経験者は、次のとおりです。

（敬称略）

氏名	所属
出口 真人	社会福祉法人愛善信光会亀岡保育園理事長
吉中 康子	京都学園大学教授
廣瀬 義直	千歳町自治会長、元小学校長

### (2) 点検・評価結果の構成

#### ①評価対象

「亀岡市教育振興基本計画平成26年度推進施策」28項目のうち教育委員会で選定した10項目

#### ②目指す姿・目的

各施策の実施目的や取組の方向性を記載しています。

#### ③実施事業の内容・成果

各施策の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、教育上効果があった内容等を記載しています。

#### ④点検項目・課題

実施施策について、「必要性」、「有効性」、「効率性」の視点から分析を行い、課題を記載しています。

#### ⑤改善策・内部評価・今後の方向性

実施施策について、課題の解決に向けた改善策を示し、上記の3つの点検項目ごとの達成度に応じて1～3点の点数を付与し、その合計点数によりA～Cの3段階評価を行っています。また、次年度事業実施の方向性を記載しています。

#### ○達成度による点数の付与

- ・達成度が高い場合 3点
- ・達成度がやや高い場合 2点
- ・達成度が低い場合 1点

#### ○合計点数による評価

各点検評価項目の合計点数	8点以上	7点～5点	4点以下
総合評価	A	B	C
事業の成果	計画どおり又は計画以上の成果が得られた	概ね計画どおりの成果が得られた	計画どおりの成果が得られなかった

## ⑥外部評価

教育委員会での点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方からいただいた評価及び意見・助言などを記載しています。

### (3) 総合評価の状況

亀岡市教育振興基本計画に基づき、平成26年度に実施した施策は概ね順調に推進でき、その目標を達成することができた。しかし、それぞれの施策において課題や改善策に記載した内容について、次年度以降の取組につながるよう対応していく必要がある。

また、学識経験者から、点検・評価の実施方法や調書の見直し等を行ったことで、「客観的で分かりやすく、判断基準の視点も明確にされている。」ものの、効率性の視点での評価においては、「特に教育施策では、費用対効果では計れない部分の評価のあり方を研究する必要がある。」などの意見があった。

今後も、教育振興基本計画に掲げた目標達成に向け、内部評価結果及び外部評価結果を踏まえ、事務事業の推進につなげていくこととする。

## 7 数値目標事業の進捗状況

目標項目	活動指標	目標年次 目 標	目標設定時 実 績	平成26年度末 実績数値(現状 値)	進捗 率	備考
《目標1》 「生きる力」の育 成	京都府学力診断 テスト	H28 府内平均 点を上回る		小学校1教科、中 学校2教科が府平 均点を上回った。 〔小学校4年算数 中学校2年国語 中学校2年数学		
	不登校児童生徒 の割合(出現率)	H28 減少	小学校 (H20～23平均) 0.36% 中学校 (H20～23平均) 2.10%	小学校 0.42% 中学校 2.53%		
《目標2》 ふるさとを愛する 心の育成	地域の自然や歴 史に関心のある 児童生徒の割合	H28 増加	H24(小学6年生) 59% H24(中学2年生) 35%	H26(小学4年生) 57.8% H26(中学2年生) 36%		
	体験学習に参加 した児童生徒の 割合	H28 100%	H23(小学4年生) 98.3% H23(中学2年生) 97.9%	H26(小学4年生) 99.0% H26(中学2年生) 99.8%		
《目標3》 学校の教育力の 向上と魅力ある 学校づくりの推進	教職員研修講座 参加者数	H28 1,800人	H24 1,539人	H26 1,883人	104.6%	
	教職員研修講座 数	H28 50講座	H24 46講座	H26 47講座	94.0%	
《目標4》 安全・安心で充 実した教育環境 の整備	小中学校施設 の耐震化率	H27 100%	H23 90.2%	H26 96.4%	96.4%	
	学校図書館図書 標準冊数達成率	H28 増加	H23 73.0%	H26 78.4%		
《目標5》 生涯学習活動の 推進	市民一人当たり年 間図書貸出冊数	H28 5.3冊	H23 4.8冊	H26 4.66冊	88.0%	H25耐震補強及 び大規模改修工 事による半年間休 館のため減少 H25年度4.44冊
	各種スポーツ大 会・教室参加者数	H28 13,500人	H24 12,269人			平成26年度から スポーツ推進課に 所管替え
《目標6》 歴史・文化・自然 の保存継承と発 信	新資料館構想 の策定	27年度まで に策定		亀岡市新資料館構 想策定委員会設置 (委員14名)委員会 4回、視察2回実施		
	文化資料館 利用者数	H28 年間1万人	H23 年間 6,018人	H26 年間 7,112人	71.1%	

## 8 施策別評価

### 目標1 「生きる力」の育成

推進施策	(1)確かな学力、学ぶ意欲の向上	所管課	学校教育課
目指す姿 目的	確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など子どもたちの「生きる力」を育てる。		

実施事業 の内容	<p>① 生きる力を育む開かれた魅力ある学校・園づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の教育的資源の活用を踏まえながら特色ある教育実践を進めるため、生きる力を育む開かれた学校づくり事業をすべての小中学校で実施した。</li> </ul> <p>② 独自作成の問題集(かめもん)等の効果的な活用と基礎学力充実事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府学力診断テスト、全国学力・学習状況調査等の実施・分析を行い、独自に作成した問題集(かめもん)等の計画的な活用を図りながら、児童生徒の学力向上に努めた。</li> <li>・基礎・基本の徹底による学力向上を図るため、亀岡市基礎学力充実推進事業をすべての小中学校で実施した。</li> </ul> <p>③土曜日を活用した教育活動実践研究事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校において、年5回程度土曜日を活用し、児童生徒の基礎学力の定着・充実等を図った。</li> </ul> <p>④ 小学校外国語活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての小学校でALT(Assistant Language Teacher)による指導を行うとともに英語活動サポーターを配置した。</li> </ul> <p>⑤ 小学校専科(音楽・図工)指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学習意欲を高め、授業内容を充実させるため、小学校専科指導推進事業を実施した。(音楽科17校、図画工作科1校)</li> </ul> <p>⑥ キャリア教育の具体化等、進路指導に関わる取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が自分らしく生きる力をつけるため、京都府の「KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業」を活用し、小学校は4年生を中心に、中学校は2年生を対象に体験活動を実施した。</li> </ul> <p>⑦ 教育に関する研究活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の振興を図るため、各種教育研究活動に対し助成を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての小中学校において、各校の実態に応じた児童生徒の表現力育成等に関する研究テーマを設定するなど、各校それぞれが創意工夫を活かした特色ある学校づくりに取組、児童生徒の表現力が高まった。</li> <li>・京都府学力診断テストや全国学力・学習状況調査の結果から、それぞれ府や全国平均を上回る教科が増えてきた。経年比較でも、府や全国の平均を上回る学校数が右肩上がりの傾向を示してきている。</li> <li>・専科教育では、児童の興味・関心・意欲が向上し、個性や能力を引き出すことができた。また、ALTや英語活動サポーターを配置したことで、児童が外国語を通じて言語や異文化への関心を高めることができた。</li> <li>・福祉体験や職場体験をとおして児童生徒に様々な知識や技能、社会の一員としての規範意識やコミュニケーション能力等を高めることができた。</li> </ul> <p>参加者 小学校:4年生802人 中学校:2年生857人</p>

点検項目	視点	理 由
必 要 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	子どもたちが自己を高め、自らが将来を切り開く力を育むとともに、学力向上と進路希望の実現を図ることが重要である。
有 効 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	京都府学力診断テストや全国学力・学習状況調査等において、成績が向上している。また、高校進学についてはほぼ全員が実現している。
効 率 性	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> 低い	様々な取組を継続することによって、自己を高め将来を切り開く力を育むことができる。学力向上についても成果や効果が出るまでには時間と色々な形での支援が必要である。
課 題	・「生きる力」の育成に向け、基礎・基本の徹底を図る教育の推進を行う必要がある。 ・ 亀岡市学力向上ビジョンの平成28年度目標到達点を見据えて、京都府学力診断テスト等の結果を検証して、指導方法の工夫や改善に努めることが必要である。	

改 善 策	毎年児童生徒が入れ替わることや単年度では結果が出にくいため、一層の指導方法の工夫・改善など継続した取組を行う。		
内 部 評 価	評価結果	説 明	
	B (前回評価結果)	新たに土曜日を活用した教育活動実践研究事業に取り組むなど、年間計画事業はおおむね予定どおり実施することができた。	
	B		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 充実・強化	<input type="checkbox"/> 維持・継続	<input type="checkbox"/> 改善・見直し
		了	

外 部 評 価	評価結果	委 員 意 見	
	B (前回評価結果)	事業実施の内容や経年データなどから見ると、継続した取組を実施する中で成果につながられていることは評価できる。学ぶ意欲を育てる授業づくりをとおして、子どもたちの興味・関心を高め自主的な学習活動が促進できる取組を推進されたい。	
	B		

推進施策	(4) 体力・競技力の向上	所管課	学校教育課
目指す姿 目 的	健康な生活を送ることができるよう、体力・運動能力の向上を図る。		

実 施 事 業 の 内 容	<p>① 幼児・児童生徒の体力・運動能力向上の取組推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校において、走る・跳ぶ・投げる等の新体力テストを実施した。</li> <li>・日常の授業はもとより、運動会等各種行事を通じて体力・運動能力の向上に努めた。また、中学校においては、部活動を通じて向上に努めた。</li> </ul> <p>② 小学校陸上運動交歓記録会・小学生駅伝(持久走)大会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校陸上運動交歓記録会には、5・6年生全員が、また、小学生駅伝(持久走)大会は、5・6年生775人(45%)が参加した。</li> </ul> <p>③ 南丹地区小学校駅伝競走大会「京都丹波キッズふれあい駅伝」への取組充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅伝競走の部、持久走の部に18小学校の4・5・6年生144人が参加した。</li> </ul> <p>④ 中学校各種競技大会の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の各部活動においては、亀岡市、口丹波、京都府大会等の競技会に参加した。</li> </ul> <p>⑤ 小・中学校体育連盟活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校における体育活動の振興を図るため、小学校体育連盟への活動助成や中学校体育連盟への活動助成及び選手派遣助成を行った。</li> </ul> <p>⑥ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の校種間連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携として、児童に中学校の体育教師が指導を行った。また、バスケットボール等において、小・中・高の合同練習会や交流会を開催した。</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生駅伝(持久走)大会には、参加希望者が年々増加し、定着した大会となってきた。南丹地区小学校駅伝競走大会(京都丹波キッズふれあい駅伝)において、持久走の部では大井小学校の女子が優勝、また、駅伝競走の部でも大井小学校が優勝する等、これまでの取組が成果となって現れてきた。また、参加することにより、自分の能力を知り、高めることができた。</li> <li>・小中連携の中で育ってきた中学生が、陸上競技、体操競技、バスケットボール競技で男女合わせて31人が近畿大会に出場した。また、陸上競技、体操競技、バスケットボール競技で、男女合わせて12人が全国大会に出場した。うち、陸上競技においては1人が3位入賞を果たす等競技力の着実な向上がみられた。</li> <li>・部活動に運動部活動地域連携再構築事業(地域のスポーツ指導者)を活用したことにより、指導面での充実を図ることができた。</li> </ul>

点検項目	視点	理 由
必 要 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	全国的に体力低下が叫ばれる中、持久力や瞬発力等体力・運動能力の向上は欠かせない。
有 効 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	小学生では、駅伝大会において好成績が出るなど、競技力の向上がみられる。 中学生では、近畿大会や全国大会に多数の生徒が出場している。
効 率 性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	運動をする子どもとしない子どもの二極化がみられることから、運動意欲を喚起する取組が必要である。 運動公園競技場等を活用することにより効率的に事業が実施できている。

課 題	<p>・新体力テストの結果から全体をみると、跳ぶことに対しては良い成績がみられ、府平均を上回る学年が複数あるが、走る・投げるという分野では下回る傾向が見られ、これらを伸ばしていく必要がある。</p> <p>また、運動に親しめる機会の拡充を図っていく必要がある。</p> <p>・小学校及び中学校における児童生徒の体力並びに運動能力の向上を図るためには、さらなる小中連携等の取組を進めるとともに、活動助成等を継続していく必要がある。</p>		
改 善 策	<p>体力並びに運動能力の向上を図るためには、運動に親しめる機会の拡充とさらなる小中連携等の取組を進めるとともに、活動助成等を継続する。</p>		
内 部 評 価	評価結果	説 明	
	A (前回評価結果)	<p>年間計画事業については、計画どおり実施できた。 小学生・中学生ともに競技力の向上がみられた。</p>	
	A		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 充実・強化 <input type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了		

外 部 評 価	評価結果	委 員 意 見	
	A (前回評価結果)	<p>小学校の記録会や大会、中学校の競技会などの成績から見ると、着実な向上が図られていることは評価できる。</p> <p>しかし、二極化傾向への課題に対応するため、手軽にスポーツに親しめる機会の創出などにより、一層の体力・運動能力の向上を図られたい。</p>	
	A		

推進施策	(7)生徒指導、教育相談の充実	所管課	学校教育課・教育研究所
目指す姿 目的	規範意識の高揚や自他の生命の尊重、自尊感情の育成、他者への思いやりなど、豊かな人間性や社会性を育成する。		
実施事業 の内容	<p>① ネットいじめ等の諸問題に対し、亀岡市いじめ防止基本方針に基づく児童生徒・保護者への指導・啓発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話、スマートフォン、パソコン等の情報機器によるいわゆるネット社会の対応として、いじめ等の諸問題・事象の発生を未然に防止するため、教職員研修をはじめ児童生徒や保護者への周知・啓発活動を展開した。</li> </ul> <p>② いじめを許さない学校、学級づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止対策推進法の施行により、市の基本方針、学校における基本方針策定に取り組んだ。</li> <li>・学校は、いじめ調査や独自のアンケート等により児童生徒の状況把握に努め、人権尊重の視点に立った全ての教育活動により、いじめを許さない学校、学級づくりを進めた。</li> </ul> <p>③ 教育相談事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内幼稚園・保育所(園)・小学校・中学校在籍者の保育・教育上の諸問題について、幼児・児童生徒、保護者、教職員を対象として教育相談を行った。</li> <li>・教育相談は、面接による相談を基本とし、電話による対応も行った。幼児・児童生徒には、プレイセラピー(遊戯療法)やカウンセリングを、保護者にはカウンセリングを、教職員にはコンサルテーション(専門家による取組への支援)を中心に実施した。また、スクールカウンセラーと積極的に連携を取りながら相談を実施した。</li> </ul> <p>④ 適応指導教室の充実及び不登校に係る民間施設や専門機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度に図書館中央館3階で開設していた中学生の不登校生徒を支援する「ふれ愛教室」を図書館中央館の大規模改修時の工事期間に教育研究所へ移転し、教育効果について調査、検証した。平成26年度からは不登校や登校しぶりの小中学生を対象に「心の居場所」として適応指導教室を教育研究所に一元化し開設した。</li> <li>このように統合した教育研究所での適応指導教室で当該児童生徒が人とかかわり、集団生活に適応する力を培い、学校生活に復帰できるように支援した。</li> </ul> <p>⑤ スクールカウンセラー活用事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーを2小学校、8中学校に継続配置し、児童生徒・保護者等の相談に対応した。</li> </ul> <p>⑥ 生徒指導上の問題行動に対する指導体制の充実とスクールサポーターの積極的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が、生徒指導部会等による組織的で、迅速かつ適切な対応とあわせ、スクールサポーターとの連携による生徒指導を行った。</li> </ul> <p>⑦ 不登校対策支援員の増員による支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策支援員を増員し、5小学校に配置した。</li> </ul> <p>⑧ 児童虐待の早期発見及び関係機関と連携した早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童対策地域協議会を中心に、月1回の連絡調整会議を開催する等、児童虐待の早期発見と早期対応・支援に努めた。</li> </ul>		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒直接のセラピーや相談等の件数が増加した。</li> <li>・学校、保育所(園)訪問やポスター及びリーフレット配布等の広報により、研究所の相談内容を広く周知し、活用してもらえた。</li> <li>・学校からの相談申込を受けて問題を抱える児童生徒の担任や教育相談担当者との相談を行い、児童生徒の理解を深め、共有した。</li> </ul>		

成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者会を開催し研修・保護者間交流を深めるとともに、通級生の現状等について保護者との連携を深めた。・通級生の学校復帰を支援するため、在籍校や医療機関と連携を図った。</li> <li>・スクールカウンセラーの緊急配置等、学校のニーズに即した迅速な対応を行うことができた。</li> <li>・亀岡警察署や家庭支援総合センターとの緊密な連携により問題事象の拡大や深化を食い止め、早期解決に繋がった。</li> <li>・児童虐待については、各小中学校の情報をもとに関係機関とのスムーズな連携が図れた。</li> <li>・小中生徒指導対策会議で、継続した生徒指導への情報共有を図った。</li> <li>・亀岡警察署と連携し、小中学校で児童生徒を対象にした「非行防止教室」により、規範意識等を高めた。・教育研究所で対応した教育相談は、延べ320件であった。・適応指導教室事業では小学生を対象にした「やまびこ教室」には3人の児童が、中学生を対象にした「ふれ愛教室」には18人の生徒が在籍した。小学生のうち1人は学校復帰し、中学生のうち1人は学校復帰、2人も部分復帰した。また、平成26年度の中学3年生9人全員が高校へ進学した。</li> </ul>
-----	--

点検項目	視 点	理 由
必 要 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	有意義な学校生活を送る上で、いじめや暴力行為など児童生徒の問題行動の未然防止や早期対応、また、それらに起因する不登校の未然防止や早期対応が不可欠である。
有 効 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	課題のある子どもはみられるが、いじめや暴力行為など児童生徒の問題行動の未然防止や早期対応により、件数が減少するなど安定した状況にある。
効 率 性	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> 低い	児童生徒対応、家庭連携、スクールカウンセラーによる相談活動などの生徒指導については、児童生徒の事態を把握してじっくりと丁寧に取り組むケースが多いため、効率性での判断は困難である。

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談では児童生徒が抱える課題が多様化しており、今後もスクールカウンセラーや教育相談担当者、特別支援教育コーディネーター、各関係機関との密接な連携が必要である。</li> <li>・学校復帰に向けての学校・家庭・関係機関との連携の強化が必要である。</li> <li>・教育相談件数の増加に伴う相談体制を整備する必要がある。</li> <li>・「別室登校」については、各学校においてより実践的で効果的な対応等、継続した情報発信が必要である。</li> <li>・不適応を示す子どもたちに対して、より安定した居場所づくりと心のケアを工夫していく必要がある。</li> <li>・児童生徒の問題事象の動向に的確に対応するとともに、規範意識の高揚に向けた周知・啓発活動の取組を強化していく必要がある。</li> <li>・インターネットは、使い方によっては被害にあうばかりか、加害者として事件に巻き込まれる危険もある。特にLINEを介しての問題は増えている。情報モラルと情報セキュリティ等について児童生徒はもとより保護者の理解を深める取組を進める必要がある。</li> <li>・適応指導教室については、学校復帰に向けての学校・家庭・関係機関との細かな連携と支援方法を共有化する必要がある。また、安定した送迎手段の確保が課題となっている。</li> </ul>
-----	---

改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が多様化しており、今後もスクールカウンセラーや教育相談担当者等が各関係機関と密接に連携する。</li> <li>・児童生徒の問題事象の動向を的確に捉え、規範意識の高揚に向け周知・啓発活動の取組を強化する。</li> <li>・教育相談については、子育て支援課、府家庭支援総合センターや保健所、保健センターなどの相談機関や医療機関などの連携を更に充実させ、相談者のニーズに応じた相談活</li> </ul>
-------	--

	<p>動が出来るようにコーディネート機能を果たす。</p> <p>・適応指導教室については、教育研究所に一元化したことにより事業効果が高まっているが、送迎手段が確保できないことが最大のネックになっており、安定した送迎手段の確保が必要である。</p>	
内部評価	評価結果	説 明
	B	<p>年間計画事業はおおむね予定どおり実施することができた。</p> <p>また、生徒指導や教育相談などそれぞれのケースについても適切に対応できた。</p>
	(前回評価結果)	
	B	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実・強化 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了	
外部評価	評価結果	委 員 意 見
	B	<p>的確な生徒指導や教育相談などにより、学校の状況が安定した状況にあることは評価できる。課題や問題を抱える子どもたちの状況は一人一人異なることを踏まえ、家庭と連携した個別対応を中心として時間をかけた取組を継続されたい。</p>
	(前回評価結果)	
B		

## 目標2 ふるさとを愛する心の育成

推進施策	(2)豊かな感性を育む教育の推進	所管課	学校教育課
------	------------------	-----	-------

目指す姿 目 的	文化や芸術などが体感できる多様な機会を設け、表現力や想像力の醸成を図る。
-------------	--------------------------------------

実施事業 の 内 容	<p>① 亀岡市学校美術展覧会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀岡市学校美術展覧会において、児童生徒の絵画、版画、工作等の作品が出展された。(11月1日・2日 亀岡市役所市民ホール)</li> </ul> <p>② 市立幼稚園子ども展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年9月に竣工した新園舎で、園児の絵画や共同作品を展示した亀岡市立幼稚園子ども展を開催した。(12月4日～12月6日、亀岡市立幼稚園)</li> </ul> <p>③ 「本物の舞台芸術体験事業」などによる演劇やミュージカル等の鑑賞機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化芸術による子供の育成事業」を活用して、児童生徒が優れた舞台芸術の巡回等を鑑賞する機会を提供した。</li> <li>〈巡回公演事業〉 ○演劇・・・ 小学校 3校、中学校 1校 ○伝統芸能・・・ 小学校 1校</li> <li>〈芸術家の派遣事業〉 ○朗読・・・ 小学校 1校</li> <li>・「次世代文化継承・発展事業」を活用して、児童生徒が文化芸術体験事業に係る専門家を講師として招聘し、本物の文化・芸術を体感する機会を提供した。</li> <li>○コンテンポラリーダンス・・・ 小学校 1校</li> <li>・「劇団四季ミュージカル」小学生特別公演招待枠を活用し鑑賞の機会を提供した。 ・・・ 小学校 14校</li> </ul> <p>④ 児童生徒の読書習慣や読書意欲の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの小中学校で朝の10分間読書や、午後の授業のスタート前に読書の時間を設けて実施した。</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに文化・芸術を体感できる多様な機会を提供することにより、興味・関心の向上とともに豊かな感性の醸成を図り、道徳・情操教育の向上がみられた。</li> <li>・優れた演劇に触れることにより、明日への活力を生み出すきっかけとなった。</li> <li>・朝の10分間読書等の実施により、児童生徒が休憩時間にも図書室を利用する等、読書意欲の向上を図ることができた。</li> </ul>

点検項目	視点	理 由
必 要 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	幼児期と学童期間は、子どもたちの豊かな感性や情操を育む重要な時期であり、様々な文化や芸術などを体感し表現力や想像力の醸成を図る。
有 効 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	文化・芸術などに対する興味・関心が向上した。あわせて豊かな感性の醸成や情操教育の向上が図られた。
効 率 性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	演劇やミュージカル等の鑑賞、文化・芸術体験活動においては、国等の制度活用を行うなど効率的な事業実施を行った。

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の多様な興味や関心に応えられるよう、学校図書室の文化・芸術関係の蔵書を充実していく必要がある。</li> <li>・子どもたちが本物の文化芸術等に触れ、より一層創造力や感受性等を高めていく機会を充実させる必要がある。</li> </ul>		
改 善 策	多様な興味や関心に応えられるよう、学校図書室の蔵書を充実する。本物の文化芸術等に触れる機会を充実する。		
内 部 評 価	評価結果	説 明	
	A (前回評価結果)	年間計画事業については、計画どおり実施できた。	
	A		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実・強化 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了		

外 部 評 価	評価結果	委 員 意 見	
	A (前回評価結果)	子どもたちが、本物の文化や芸術を体感することは大変有意義なことであり、財源確保する中で取り組まれていることは評価できる。今後は、地域の伝統文化の保存継承等の取組と併せて、機会提供の充実に努められたい。	
	A		

### 目標3 学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進

推進施策	(2)学校規模適正化の検討	所管課	教育総務課
目指す姿 目的	少子化の影響や市域の人口動向など社会的要因に伴い、学校区における子どもの集団が小規模化してきている地域があり、校区の見直しを含め、適正な学校規模について、教育活動充実の視点から検討する。		

実施事業 の内容	<p>①適正な学校規模の調査・研究</p> <p>亀岡市立小学校・中学校における児童生徒数の現状を踏まえ、学校教育活動の充実を図り、適正な学校規模のあり方を検討するため、学校規模適正化検討会議を設置した。</p> <p>平成26年度は、年4回の会議を開催するとともに、市民や保護者、学校関係者にアンケート調査を実施した。</p>		
成果	亀岡市学校規模適正化検討会議で、亀岡市の小中学校の現状把握と問題や課題の整理、望ましい学校規模について、共通理解を持つことができた。		

点検項目	視点	理由
必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	亀岡市立小学校・中学校における児童生徒数の現状を踏まえ、学校教育活動の充実を図り、適正な学校規模のあり方を早期に検討する必要がある。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	少子化の進行や市域の人口動向等社会的要因を踏まえ、適正な学校規模について検討することで、学校の教育活動充実と学校の教育力向上が高まる。
効率性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	学校は歴史と伝統ある地域のシンボルであり、適正化の取組は地域住民や保護者の理解と協力がなければ進められない。そのため、検討会議で十分議論する必要がある。経済性、効率性のみが優先されるものではない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度末の基本方針策定に向け、円滑な学校規模適正化検討会議の運営が必要である。</li> <li>学校規模適正化検討会議の議論を積み重ね、提言をもとに基本方針を策定し、地域住民や保護者と十分に協議していく必要がある。</li> </ul>	

改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針に沿い、子どもたちの学習環境が向上できるよう計画的に進めていく。</li> <li>学校の再編等に当たっては、保護者や地域住民に説明し、理解協力を得るなかで進めていく。</li> </ul>
-----	--

内部評価	評価結果	説明
	A (前回評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模適正化検討会議を立ち上げ、4回の会議を開催できた。</li> <li>学校規模適正化アンケートを実施できた。</li> </ul>
	B	
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 充実・強化 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了

外部評価	評価結果	委員意見
	A (前回評価結果)	全市的には児童数が減少する中での適正な学校規模のあり方という大きな課題に対して、計画的な取組が進められていることは評価できる。平成27年度中に基本方針が策定できるよう進められたい。
	B	

## 目標4 安全・安心で充実した教育環境の整備

推進施策	(1)安全・安心で快適な教育環境の整備	所管課	教育総務課
目指す姿 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設耐震化整備計画に基づき、平成27年度完了に向けて、国の補助金等を活用して、耐震化・大規模改修工事を推進する。</li> <li>・学校耐震化事業と併せて、老朽化対策など教育環境の整備を図る。</li> </ul>		

実施事業 の内容	<p>① 学校施設耐震化の計画的推進          亀岡小学校耐震補強・大規模改修工事、川東小学校・高田中学校改築工事、幼稚園改築工事</p> <p>② 学校・園施設老朽箇所等の計画的整備          つつじヶ丘・畑野小学校プール改修工事、大井小学校校舎防水工事          吉川小学校防球ネット整備工事</p> <p>③ 学校施設・設備の日常的な点検活動          小学校修繕267箇所、中学校修繕121箇所、幼稚園 修繕5箇所</p> <p>④ 快適な教育環境の整備          施設のバリアフリー化ー川東小学校・高田中学校改築工事          トイレ(悪臭対策)ー大井小学校・城西小学校・つつじヶ丘小学校</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化事業の推進により、平成26年度末における亀岡市の学校施設耐震化率は、96.4%となった。(平成25年度 95.5%)</li> <li>・学校施設の老朽化対策として、施設整備工事及び施設修繕を行い、機能回復を図った。</li> <li>・安全性や緊急性のある施設修繕を実施した。実施率 100%</li> </ul>

点検項目	視点	理 由
必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	子どもたちが安全・安心で充実した学習環境のもとで学び、豊かな学校生活を送るために必要である。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	安全・安心で快適な教育環境の整備を推進することができた。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	学校関係者と教育委員会が連携し、効率的な施設管理や緊急性の高い箇所に対する施設修繕を実施する事ができた。
課題	施設の老朽化が進む中で、緊急的な対応が必要なケースが増加している。	

改善策	事業に対する費用対効果を明確にし、より効率的な施設管理を推進していく。	
内部 評価	評価結果	説 明
	A (前回評価結果)	・学校施設耐震化率を96.4%まで高めることができた。(平成25年度 95.5%)
	A	・安全性や緊急性のある施設修繕はすべて実施した。
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 充実・強化 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了

外部 評価	評価結果	委 員 意 見
	A (前回評価結果)	学校耐震化をはじめとした施設整備が計画的に推進されていること、また、緊急性の高い修繕等にも早期対応できていることは評価できる。今後も、安全・安心な学校生活を送れる教育環境の整備に努められたい。
	A	

推進施策	(4) 学校給食の充実	所管課	学校給食センター・学校教育課
目指す姿 目的	発育期にある児童の心身の健全な発達に努めるため、安全・安心でバランスのとれた栄養豊かなおいしい給食を安定して提供する。 また、日常生活における食事や食生活について食育指導等により理解を深める。		
実施事業 の内容	<p>①地元産食材の利用推進と、安全・安心で、栄養バランスに配慮した給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米飯についてより安全・安心でおいしい米飯が提供出来るよう炊飯委託業者の変更を行った。</li> <li>・亀岡産野菜の使用率の向上に努めた。</li> </ul> <p>②給食と各家庭に配布している「きゅうしょくだより」での広報を通じた食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きゅうしょくだより」「きゅうしょくカレンダー」等の各家庭への配布、市ホームページへの掲載の他学校内での給食指導や食育に活用した。</li> </ul> <p>③食物アレルギーを有する児童への給食の取組と適切な対応のための学校給食センター・学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携の強化</li> <li>・ノンアレルギー食材を積極的に使用した。</li> <li>・アレルギー原因となる食材に色づけした献立表を各個人別に作成配付し学校・担任との連携を図った。</li> </ul> <p>④小中学校の給食のあり方についての調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校での給食のあり方等について調査・研究に努めた。</li> </ul> <p>⑤食物アレルギー対応に関する研修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーへの対応や緊急時の対応について研鑽を深めた。</li> </ul> <p>⑥給食への異物等の混入防止や発見時における対応についての検討・協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食への異物等の混入防止対策並びに異物等の発見時における関係機関との対応、的確な状況判断と迅速な対応等について検討・協議を行った。</li> </ul>		
成果	<p>○学校給食センター運営委員会において協議し、企画提案型による業者選定により米飯の炊飯委託業者を(株)京都協同管理に変更した。</p> <p>○野菜の地場産使用割合41.0%(平成25年度25.5%)、亀岡産キヌヒカリを100%使用しており両方を併せた使用割合は、66.0%(平成25年度56.6%)となり、ともに増加した。また、衛生管理体制の確立を図り、安全・安心で栄養バランスの取れた学校給食を提供することができた。</p> <p>○給食試食会や「きゅうしょくだより」等の広報を通じ保護者へ学校給食の意義・役割等について周知を図るとともに、学校と連携し食育指導の充実を図った。</p> <p>○アレルギー児童への対応を積極的に行うとともに、食の情報収集を的確に行い、保護者に安全性の周知を図った。</p> <p>○食物アレルギーを有する児童への対応について研修を進める中で、日頃気を付けるべき、緊急時の対応等について食物アレルギー対応の手引きを策定した。</p> <p>○給食への異物等の混入防止対策並びに異物等発見時における関係機関との対応や状況に応じた的確な判断と迅速な対応が出来るよう、各小学校長と検討・協議を行い「学校給食異物混入時対応マニュアル」を策定した。</p>		
点検項目	視点	理	由
必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	正しい食習慣の形成と好ましい人間関係の育成を図るとともに、発育期にある子どもたちにバランスのとれた栄養豊かで、安全・安心な給食を安定して提供する。	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	栄養バランスの取れた給食を1日約5,400食提供し心身の健全な発達に寄与している。また、給食試食会等においても保護者から好評を得ている。	

効 率 性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	米飯給食については、企画提案型による業者選定を行い炊飯業者を選定しているが、副食調理業者についても安全性や費用面において企業努力を求めていく必要がある。
課 題	○地場産野菜の使用割合の一層の向上が必要である。○食物アレルギー対象児童の保護者、学校・学級担当、学校給食センター間の連携をより密接にする。○副食の調理においてより安全・安心でおいしく経済面においてもより効率的に行えるよう検討する。 ○中学校給食のあり方について検討を行う。	

改 善 策	○食物アレルギー対象児童への対応については食物アレルギー管理システムの開発・導入に取り組む。 ○副食調理業者選定にあたっては複数業者による企画提案型による業者選定に取り組む。 ○中学校給食については、生徒や保護者、学校等の意見を踏まえる中で、本市の実態に見合った方式等について検討する。	
-------	---	--

	評価結果	説 明
内 部 評 価	A	地場産野菜の主要9品目の野菜の使用割合について平成26年度41.0%と平成25年度の25.5%に比べ15.5%増加している。また、食物アレルギーの緊急時における対応マニュアル及び給食への異物等混入防止や発見時の対応マニュアルを策定するなど安全・安心で栄養バランスの取れたおいしい給食を提供することが出来た。
	(前回評価結果)	
	B	
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 充実・強化 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了

	評価結果	委 員 意 見
外 部 評 価	A	「給食への異物等の混入防止対策及び異物等の発見時における対応マニュアル」を策定したことは評価できる。今後は、より一層の地元産食材の利用推進とともに食育の推進に努められたい。
	(前回評価結果)	
	B	

## 目標5 生涯学習活動の推進

推進施策	(2)家庭教育への支援	所管課	社会教育課
目指す姿 目 的	親子の絆を深め、心身ともに健やかで心豊かな子どもを育てるため、学校・家庭・地域が連携協力し、親やその家族を対象に多様な学習機会を提供することで、家庭の教育力を高める。		

実施事業 の 内 容	<p>地域や幼稚園など豊かなつながりの中で家庭教育を行い、親子の育ちを応援する学習機会の場として、また、身近な人権研修の機会として講座等を実施した。</p> <p>①「子育て・親育ち講座」の実施(参加人数388人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の親や家族などを対象に、亀岡市立幼稚園や地域の子育てサークル、自治会などで、「親の役割・家族の役割」、「関わりや伸ばし方」、「食育」、「人形劇」、「心と体の発達理解」などをテーマとして7講座を実施した。</li> </ul> <p>②「参加型家庭教育研修会」の実施(参加人数56人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者がお互いの気づきや考えを共有しながら、人権意識を学ぶ機会として親や子どもの自尊感情をテーマとして2講座を実施した。</li> </ul> <p>③「親のための応援塾」の実施(参加人数1,427人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内18小学校で就学前の子どもを持つ保護者などが語り合い、交流し、学びあうことで日常の不安や悩みをやわらげるとともに、保護者同士のネットワークづくりを図った。</li> </ul>		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育機能を活用した家庭教育への支援事業を実施したことで、多くの参加を得ることができた。</li> <li>・アンケート結果から、「子育てのヒントとなった」、「悩んでいたことが少し和らいだ」など、家庭における教育について改めて考える良い機会となったとの感想を多くいただいた。</li> </ul>		

点検項目	視 点	理 由
必 要 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	家庭はすべての教育の出発点であり、家庭の教育力を高めるため、事業実施は重要であり、必要性は高い。
有 効 性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	事業実施によるアンケート結果等から、目的に見合った一定の成果が得られている。
効 率 性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	社会教育委員や人権教育啓発指導員を講師として活用し、費用対効果の観点からも、効率的に実施できている。
課 題	家庭教育の必要性が高まってきている中、より多くの保護者等の参加が得られるよう工夫していく必要がある。	

改善策	あらゆる機会を通じて、家庭教育支援事業や家庭教育講師派遣を実施する。	
内 部 評 価	評価結果	説 明
	B (前回評価結果)	家庭環境の多様化や地域社会の変化により、家庭教育の必要性が高まっている。地域や子育て広場等、豊かなつながりの中で家庭教育が行えるよう、多様な地域の教育機能を活用した家庭教育への支援を図ることができた。
	B	
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 充実・強化 <input type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了	

外 部 評 価	評価結果	委 員 意 見
	B (前回評価結果)	家庭教育の必要性が高まる中で新たな取組をスタートさせたことは評価できる。今後は、参加者の学びたい、知りたいというニーズに応えられる講座として内容充実等を図られたい。
	B	

推進施策	(5) 読書活動の充実	所管課	図書館
目指す姿 目的	幼児から高齢者まで「生涯にわたる学び」を支援するため、社会教育施設としてサービスの向上と図書館資料の充実を図り、市民読書を推進する。また、「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」に基づき、家庭や地域、学校での子どもの読書活動を推進する。読書ボランティアの養成や活動を支援するとともに、学校配本や団体貸出の充実と利用促進を図る。		

実施事業 の内容	<p>① 図書館施設の整備、読書環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央館にヤングアダルトコーナーと親子読書コーナーを設置した。</li> </ul> <p>② 図書館蔵書の充実による市民読書の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入数 7,189冊(内、児童書 3,049冊)</li> <li>・視聴覚資料購入数 CD 102点、DVD 83点</li> </ul> <p>③ 「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」に基づく子ども読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かめおかっこ 夢・未来 読書フェスティバルを11月15日に市民ホールで開催した。講演会(絵本作家 木村祐一)、人形劇、親子で選ぶ選書会等を行った。参加者250人、延420人。</li> <li>・ブックスタート事業として、保健センターでの11ヶ月健診時に会場で絵本プレゼントと読み聞かせを行った。絵本配布679人</li> <li>・おはなし会等を開催した。 実施回数144回 参加人数1,189人</li> <li>・配本事業を実施した。 小学校 11校(高学年向きの図書の入替を実施)、公私立幼稚園・保育所(園)19施設(年2回)</li> <li>・学校図書指導員配置事業による学校図書館への支援を行った。 実施校 17小学校活動回数 1,243回(25年度 1,214回)。</li> <li>・読書活動推進関係の講座を開催した。 1回 参加人数61人</li> </ul> <p>④ 読書ボランティアの養成と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本の種をまく人の会によるボランティア養成講座を支援した。 5回連続講座 受講者16人</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かめおかっこ 夢・未来 読書フェスティバルの開催により、親子で読書に親しむ機会が提供でき、親子読書の推進を図ることができた。</li> <li>・幼稚園・保育所(園)配本事業の定着と、ブックスタート事業により親子読書の推進につなげることができた。</li> </ul>		

点検項目	視点	理由
必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	幼児から高齢者までが、本を通じて学び、豊かな心を育む場所として、また市民読書活動推進の事業を発信する場所として、公立図書館の役割が重要である。
有効性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	親子を含めた市民読書活動のための諸事業は、事前広報により参加者も定着してきており、心待ちにしておられる人も多い。図書の充実により、市民の読書活動推進が図れた。
効率性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	中央館、分館3館、分室2室それぞれの場所で、事業展開を行い、市民の利便性を図っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」のさらなる推進が必要である。</li> <li>・図書館利用の促進を図るため、多様な利用者の要望に応える蔵書の充実が必要である。</li> <li>・学校等関係機関やボランティア連携は進んでいるが、地域や家庭での読書活動充実が必要である。</li> </ul>	

改善策	家庭や親子での読書活動推進を図る方策の一つとして、読んだ本の履歴をふり返り読書意欲を向上させることにつながる子ども読書手帳を作成配布する。	
内部評価	評価結果	説 明
	B (前回評価結果)	市民読書活動推進のため、施設環境の継続的な充実や蔵書の充実を図ることができた。かめおかっこ 夢・未来 読書フェスティバルをはじめとする、さまざまな事業に参加者が定着するなど、市民満足につながる事業展開ができた。
	B	
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 充実・強化 <input type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了	

外部評価	評価結果	委 員 意 見
	B (前回評価結果)	イベントの実施など本に親しむ機会の提供により、親子読書や家庭読書の推進が図れていることは評価できる。幅広い年代層の図書館利用の促進に向けて蔵書の充実等に努められたい。
	B	

## 目標6 歴史・文化・自然の保存継承と発信

推進施策	(2)歴史・文化・自然を学ぶ拠点の整備	所管課	文化資料館
目指す姿 目 的	ふるさとの歴史・文化・自然を紹介し、学ぶ場として文化資料館の展示会や講座の充実を図る。また、新資料館の理念・機能・規模などについて検討し、構想を策定する。		
実施事業 の 内 容	<p>①新資料館構想策定 ・新資料館構想策定委員会を設置した。(委員14名)、委員会4回、視察2回実施</p> <p>②文化資料館での特別展・企画展・ロビー展の開催 ・特別展「ふるさと亀岡のお城—平城・平山城・山城・城館—」、企画展「ふるさとの名品—指定文化財の世界—」、「ふるさと亀岡をつづる—福知正温の足跡—」、ロビー展6回を開催した。(26年度来館者総数7,112人)</p> <p>③子ども歴史教室の充実 ・「のどかめ親子のアユモドキ見守り隊26」として親子体験講座を開催した。(全7回、19組51人が参加)</p> <p>④文化資料館友の会の連携事業の充実 ・座談会・文化財研修の実施、友の会サークル活動を支援した。</p> <p>⑤出前講座・授業による学習活動への支援 ・小中学校への出前授業や出張講演・フィールドワークなどを行った。(学校30回、その他25回、合計55回の出張講座を実施。参加者数3,944人)</p>		
成 果	<p>・亀岡市新資料館構想策定委員会を設置し、委員14人で平成27年度の構想策定に向けて検討を進め、中間報告を作成した。</p> <p>・展示会や講演会、アユモドキ見守り隊などの普及啓発活動や出張講座を実施した。(年間総利用者数11,056人)</p> <p>・文化資料館友の会の各種連携事業に積極的に協力し、生涯学習実践の場として、その充実を図ることができた。</p>		

点検項目	視点	理 由
必 要 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	新資料館構想の策定や、アユモドキの飼育展示など、時機を捉えた取組をしている。亀岡の歴史・文化・自然を守り伝える役割に応えられるよう対応している。
有 効 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	展示会や普及啓発活動、友の会活動の支援、出張講座などには、多くの参加者があり、好評を得ている。
効 率 性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い	歴史・文化の理解促進などに、最大限成果をあげている。

課 題	<p>・文化資料館の建物自体の老朽化は否めない。新資料館構想と整合させる必要があるが、資料館機能の維持のためにも、計画的な改修・修繕は必要である。</p> <p>・展示会及び普及啓発活動を通じて、さらに利用者数の増加を図る必要がある。</p>
-----	---

改 善 策	<p>・新資料館構想の策定を目指す。</p> <p>・平成28年度までに年間入館者数1万人を目指すため、さらに展示会及び普及啓発活動の充実を図る。</p>
-------	---

内 部 評 価	評価結果	説 明
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新資料館構想の策定に向けて、4回にわたり検討を進めた。</li> <li>・資料館利用者数も増加傾向を堅持している。</li> </ul>
	(前回評価結果)	
B		
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 充実・強化 <input type="checkbox"/> 維持・継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・終了

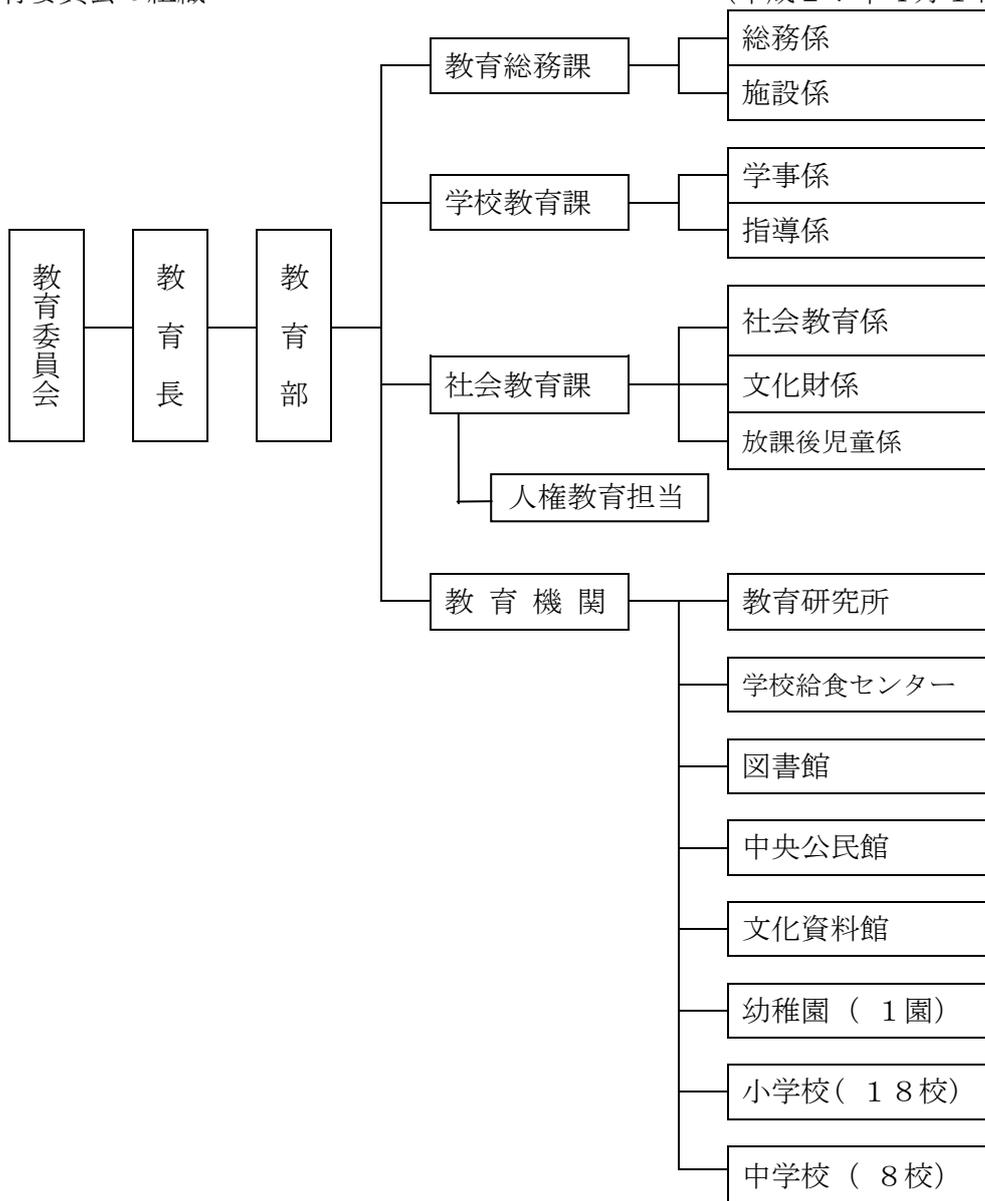
外 部 評 価	評価結果	委 員 意 見
	A	<p>地域の歴史・文化・自然などを守り伝えるため、資料館での特別展や企画展をはじめ、アユモドキの飼育展示など工夫を凝らした取組は評価できる。平成27年度中に新資料館構想が策定できるよう進められたい。</p>
	(前回評価結果)	
B		

# 資 料

## 1 教育委員会委員 (平成27年7月1日現在)

職名	氏名	教育委員の任期
委員長	栗山 正則	平成21年 6月23日 ~ 平成28年 3月31日
委員長職務代理者	吉岡真知子	平成24年12月25日 ~ 平成31年 3月31日
委員	江口 昌道	平成26年 4月1日 ~ 平成30年 3月31日
委員	関 吉廣	平成27年 7月1日 ~ 平成31年 6月30日
教育長	竹岡 敏	平成21年 4月2日 ~ 平成29年 4月1日

## 2 教育委員会の組織 (平成27年4月1日現在)



### 3 公立学校施設

(1) 小学校 平成27年5月1日現在 (単位:人)

学 校 名	児童数
亀岡小学校	551
安詳小学校	843
東別院小学校	24
西別院小学校	21
曾我部小学校	173
吉川小学校	52
蕨田野小学校	107
本梅小学校	69
畑野小学校	53
青野小学校	69
大井小学校	458
千代川小学校	508
川東小学校	164
保津小学校	47
つつじヶ丘小学校	743
城西小学校	362
詳徳小学校	255
南つつじヶ丘小学校	392
計	4,891

(2) 中学校 平成27年5月1日現在 (単位:人)

学 校 名	生徒数
亀岡中学校	561
別院中学校	35
南桑中学校	326
育親中学校	143
高田中学校	85
東輝中学校	694
大成中学校	385
詳徳中学校	325
計	2,554

(3) 幼稚園 平成27年5月1日現在 (単位:人)

幼稚園名	園児数
亀岡市立幼稚園	101

## 亀岡市教育委員会事務の点検・評価の実施に関する要綱

平成21年3月31日  
亀岡市教育委員会告示第2号

### (趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、亀岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について、必要な事項を定めるものとする。

### (点検・評価の対象)

第2条 点検・評価の対象は、前年度に実施した教育委員会が定める施策に関する事務、教育行政の推進上重要な課題に係るもの又は点検・評価を行うことが必要と認める事務のうち、教育委員会が選定したものとする。

### (協議会)

第3条 点検・評価を行うため、教育委員会は、委員協議会（亀岡市教育委員会基本規則（昭和31年教育委員会規則第1号）第3条の2に定める委員協議会をいう。（以下「協議会」という。）を開催し、審議する。

2 法第26条第2項に定める学識経験者の知見を活用するため、当該協議会に外部の学識経験者（以下「外部有識者」という。）の出席を求める。

3 協議会は、教育委員会教育長が招集し、その議長となる。

4 教育委員会教育長が必要と認めるときは、委員及び外部有識者以外の者を協議会に出席させ、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

### (報告書の作成及び公表)

第4条 教育委員会は、協議会の検討を踏まえ、点検・評価の結果に関する報告書を作成するものとする。

2 教育委員会は、前項の報告書を亀岡市議会に提出するとともに、公表を行う。

### (庶務)

第5条 点検・評価の実施に関する庶務は、教育総務課において行う。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長に委任する。

## 附 則

### (施行期日)

1 この要綱は、平成27年4月1日から実施する。

### (旧教育長に関する経過措置)

2 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）附則第2条第1項に規定する旧教育長が、同項の規定により引き続き教育長として在職する間においては、なお従前の例による。

**平成27年度（平成26年度対象）  
亀岡市教育委員会点検・評価報告書**

発行 平成27年9月

編集 亀岡市教育委員会

〒621-8501

京都府亀岡市安町野々神8番地

TEL 0771-25-5052（直通）

FAX 0771-23-3100

URL <http://www.city.kameoka.kyoto.jp>（亀岡市HP）